

# 府民の森くろんど園地探鳥会 (毎月第4土曜日両園地通算第 282 回)

令和6(2024)年10月26日(土)9:30～14:30頃 日本野鳥の会大阪支部  
友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二・平軍二 (090-6901-1425)

## I 交野の鳥シリーズ(129) ムギマキ

毎月交野市で開催している「くろんど園地・ほしだ園地探鳥会」は 2000 年にスタートしたが、当初は奇数月くろんど、偶数月ほしだで開催していた。

その後、10月下旬くろんど園地周辺に多いカラスザンショウにムギマキが訪れていることがわかり、「10月にくろんど園地でムギマキ」を、「5月ほしだ園地でハヤブサのヒナ」を観察したいことから、2018 年に両園地の開催月を変更した。

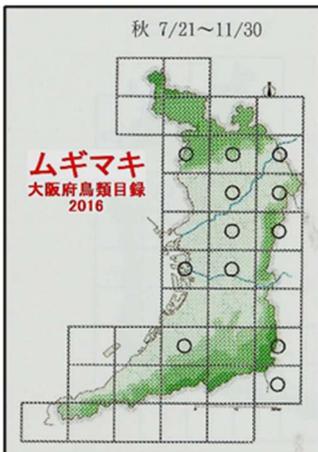
今月もムギマキを観察したいと、沖 光二氏が昨年写されたムギマキ写真を利用させていただいた。



ムギマキ(カラスザンショウ)沖光二氏 20231028

### ①交野市でのムギマキ観察結果 →

友田 武氏は交野市で観察された鳥を 2008 年以降、毎日集約されている。その結果によると毎年のムギマキの観察日数は左図の通りである。



2024 年は 10/24 現在確認されていないが、ムギマキが交野市(くろんど園地)を通過するのは 10 月下旬を中心に10日前後なので、今日の探鳥会で、ぜひ観察したいと思っている。

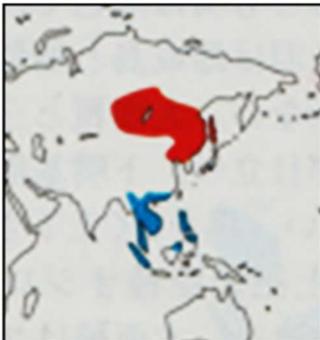
### ←②大阪府鳥類目録 2016

くろんど園地探鳥会が奇数月に開催していたこともあり、2016 年時点で交野市でのムギマキが知られておらず、日本野鳥の会大阪支部が集約した大阪府鳥類目録 2016 では、大阪城公園など府内の都市公園などで休んでいるムギマキを単発的に観察されていた記録のみが載っている。そのため大阪支部のムギマキ観察を主目的にした平日探鳥会を、神戸市六甲山系・菊水山に出かけて開催していた。

### ③ムギマキの名前

ムギマキは晩秋、麦の種をまく時期に日本を通過するため、名づけられたとのことである。しかも、右表のとおりムギマキの標準和名や漢字名だけでなく、**学名・英語名**にも和名と同じ**ムギマキ**がついている。

標準和名	ムギマキ
漢字名	麦播
学名	Ficedula mugimaki
英語名	Mugimaki Flycatcher



### ←←図鑑「真木・大西:平凡社(日本の野鳥590)」の繁殖・越冬図

ムギマキの繁殖地は左図のように、シベリア・旧満州・樺太などで、日本では繁殖しておらず、春と秋、特に秋によく観察できる旅鳥である。このことは、学名のもとになっている標本採取地が繁殖地でなく、渡りの途中に立ち寄った日本であったことがわかる。

## Ⅱ 7/27 私市植物園、9/28 ほしだ園地探鳥会結果 (8/24 くろんど園地は夏休み)

**7/27 私市植物園** 当初、ほしだ園地入口「ピトンの小屋」まで行く予定でしたが、**熱中症警戒アラート**が出ていること、ほしだ園地にハヤブサがないこと、最近植物園にオオタカが観察されていることから、**大阪公立大学附属植物園**に変更しました。ちょうど七夕まつりで入場無料でした。



オオタカ幼鳥 (吉山晃氏) 20240727

植物園内ではなかなか鳥は見えなかったが、交野野鳥の会の会員さんがおられ、さっきオオタカが出たとの事でした。奥の道をかなり行った所でキビタキが幼鳥に給餌するのが見えました。もっと奥に行った所で**オオタカ幼鳥**の鳴き声が 2 か所で聞けたが、姿は見えませんでした。一応目的を達成し、昼食をして終了した。

(探鳥会で声を聞いたオオタカ幼鳥でしょうか、当日午後に吉山氏が写真に収められていました)

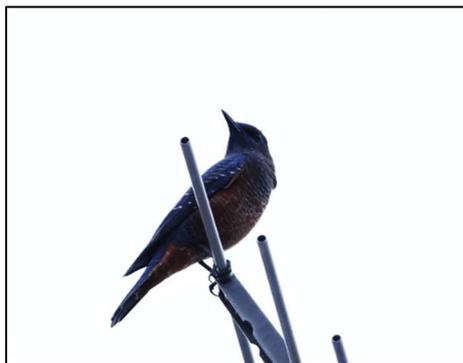
**9/28 ほしだ園地** 曇り空で多少暑さは、しのげるとの思いで出発しました。私市集落ではイソヒヨドリ・ムクドリ・モズ、セキレイ 3 種(セグロ…、ハク…、キ…)、ツバメなどが次々出てくれ、スタート地点の電線に休んでいたコシアカツバメの群も、大阪公立大私市植物園入口「日の出橋」を過ぎた辺りで舞ってくれた。天野川沿いの遊歩道に入ってから全く鳥は出なかったが、園地に入ってメジロの群がハゼノキの実に集まっており、交野つり橋「星のブランコ」の架台にイソヒヨドリ、ソウシチョウの声、更にコサメビタキも出た。残念ながら、ほしだ園地のシンボル鳥ハヤブサを見ることができず、また、園内どこかにいる筈のヤマガラ・シジュウカラ・エナガが観察できないまま終わり、トータル観察種は 19 種にとどまった。



コサメビタキ



メジロ (渡邊信義)



イソヒヨドリ(渡邊信義氏)



コシアカツバメ(平)

## IV 最近の話題提供・日本鳥類目録改訂8版

10月に開催された日本鳥学会で、日本鳥類目録改訂第8版(2024版)を発表しました。日本で発行されている図鑑は日本鳥学会が発表した鳥類目録に従って編集され、発行されていますので、図鑑改定の真っ最中と思います。

近々、図鑑を買おうと思われている方、改定新版(発行は早くても2025年1月以降)かどうか確認して購入する、すなわち改定新版が出るまで購入を延期するのが良いと思います。

ここ20年の日本鳥類目録の改定状況は以下の通りです。

### 日本鳥類目録第6版(2000年)

1922年(大正11年)に第1版が発行されて以来、鳥類の分類は鳥の形が中心になっていた。このため、姿・声、そして生息している場所を手掛かりに分類されていた。

日本産鳥類 542種、外来種 26種

### 日本鳥類目録第7版(2012年)

進展していた遺伝子解析(分子系統学)を取り入れた結果、外見の姿かたちが似ていても「収斂進化(しゅうれんしんか)の結果で、違う仲間であることがわかり、大幅改定が行われた。

日本産鳥類 633種、外来種 43種

第7版で一番大きく変わったことの2例

第6版	第7版
①タカ目ータカ科・ハヤブサ科	→ タカ目ータカ科    ハヤブサ目ーハヤブサ科
②スズメ目ーウグイス科	→ スズメ目ーキクイタダキ科・ウグイス科・ムシクイ科 ・センニュウ科・ヨシキリ科・セッカ科

科の独立に伴い種名もいろいろ変更が出ており、くろんど園地・ほしだ園地で観察できる種としてはウグイス科の種メボソムシクイが、ムシクイ科の種メボソムシクイ・種オオムシクイに分かれたことなどがある。

平は鳥を始めた、1980年以降30年余り、鳥の形態をベースにした鳥類目録第5版・6版ベースの図鑑を使っていたので、第7版分子系統学ベースにした図鑑を買ったものの、長い間使うことができませんでした。

今もウグイス科の分割で新しくできた科の順番が理解できず、使いこなしていません。

### 日本鳥類目録第8版(2024年)

第7版で進展した分子系統学ベースについて再チェックされた程度で、変化は大きくない。

日本産鳥類 644種、外来種 46種

そんな中、くろんど園地、ほしだ園地で観察される種として、下記2種が4種になっている。

第7版	第8版
種ツグミー亜種ツグミ・亜種ハチジョウツグミ	→ 種ツグミ・種ハチジョウツグミ
種サンショウクイー亜種サンショウクイ・亜種リュウキュウサンショウクイ	→ 種サンショウクイ・種リュウキュウサンショウクイ

## IV 次回探鳥会 2024/11/23(土) ほしだ園地 9:30 私市駅前

今月と同じように、大阪支部 HP のホームズ様式からお申し込みください。

ほしだ園地でハヤブサは出てくれるでしょうか？

# V 探鳥会記録 (ほしだ園地・くろんど園地)

科名	種名	鳥類目録 No	年月日 回数No	2024											鳥類目録 No
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
				27	24	23	27	25	22	27	24	28	26	23	
キジ	ヤマドリ	1	4												4
キジ	キジ	2	5												5
カモ	ハクチョウSP	3	19			雨									19
カモ	オシドリ	4	24												24
カモ	オカヨシガモ	5	26			天									26
カモ	ヨシガモ	6	27		36										27
カモ	ヒドリガモ	7	28			中									28
カモ	マガモ	8	30	1											30
カモ	カルガモ	9	32	11		止		1							32
カモ	ハシビロガモ	10	34		2										34
カモ	コガモ	11	38												38
カモ	ホシハジロ	12	42												42
カイツブリ	カイツブリ	13	62												62
ハト	キジバト	14	74	2	2		2	1		4	3				74
ハト	アオバト	15	78				3	1							78
コウノトリ	コウノトリ	16	119												119
ウ	カワウ	17	127		1										127
サキ	ゴイサギ	18	139												139
サキ	ササゴイ	19	141												141
サキ	アオサギ	20	144							2					144
サキ	ダイサギ	21	146					1		1					146
サキ	コサギ	22	148	1			1	1		1					148
クイナ	バン	23	174												174
クイナ	オオバン	24	175		26										175
カッコウ	ホトトギス	25	185						2						185
カッコウ	ツツドリ	26	187												187
アマツバメ	アマツバメ	27	192												192
アマツバメ	ヒメアマツバメ	28	193												193
チドリ	ケリ	29	195			1									195
チドリ	コチドリ	30	203												203
シキ	タシギ	31	219												219
シキ	イソシギ	32	244												244
シキ	タマシギ	33	271												271
ミサゴ	ミサゴ	34	339												339
雉	ハチクマ	35	340												340
雉	トビ	36	342												342
雉	ツミ	37	354												354
雉	ハイタカ	38	355	1											355
雉	オオタカ	39	356						1	2					356
雉	サシバ	40	357												357
雉	ノスリ	41	358		1										358
カワセミ	カワセミ	42	383	4				3							383
キツツキ	コゲラ	43	390	2	4		2	2	3	2	1				390
キツツキ	アカゲラ	44	393												393
キツツキ	アオゲラ	45	397	1	1		1								397
ハヤブサ	チョウゲンボウ	46	401		1										401
ハヤブサ	ハヤブサ	47	407												407
サンショウク	サンショウクイ	48	412												412
カササギヒタキ	サンコウチョウ	49	418												418
モス	モズ	50	420	2						1					420
カラス	カケス	51	427												427
カラス	ハシボソガラス	52	435	5	1		3	2		2	5				435
カラス	ハシブトガラス	53	436	10	6		10	12	6	3	6				436
カラス	キウイタダキ	54	438												438
シジュウカ	コガラ	55	441												441
シジュウカ	ヤマガラ	56	442	1	3		4	6	4	3					442
シジュウカ	ヒガラ	57	443												443
シジュウカ	シジュウカラ	58	445	2	2		2	1		1					445
ツバメ	ツバメ	59	457				5	21	6	2	9				457
ツバメ	コシアカツバメ	60	459				3				11				459
ツバメ	イワツバメ	61	461					4							461
ヒヨドリ	ヒヨドリ	62	463	20	39		16	22	19	2	20				463

科名	種名	鳥類目録 No	年月日 回数No	2024											鳥類目録 No
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
				28	25	25	27	25	22	27	24	28	26	23	
ウグイス	ウグイス	63	464	2	5				26	10	23	3			464
ウグイス	ヤブサメ	64	465					2						夏	465
エナガ	エナガ	65	466	10	6		雨							夏	466
ムシクイ	オオムシクイ	66	476											み	476
ムシクイ	メボソムシクイ	67	477				天								477
ムシクイ	エゾムシクイ	68	479												479
ムシクイ	センダイムシクイ	69	480				中	4	7	3					480
メジロ	メジロ	70	485	14	56			5	4	4	4		22		485
ヨシキリ	オオヨシキリ	71	492				止								492
レンジャク	キレンジャク	72	500						20						500
レンジャク	ヒレンジャク	73	501												501
ミソサザイ	ミソサザイ	74	504												504
ムクドリ	ムクドリ	75	506	10				1	10					14	506
ムクドリ	コムクドリ	76	508												508
カワガラス	カワガラス	77	512												512
ヒタキ	トラツグミ	78	514												514
ヒタキ	マミチャジナイ	79	520												520
ヒタキ	シロハラ	80	521		2										521
ヒタキ	アカハラ	81	522												522
ヒタキ	ツグミ	82	525	90	78										525
ヒタキ	コマドリ	83	530												530
ヒタキ	ルリビタキ	84	536	1	1										536
ヒタキ	ジョウビタキ	85	540		4										540
ヒタキ	ノビタキ	86	542												542
ヒタキ	イソヒヨドリ	87	549	1			2	3		2	6				549
ヒタキ	エゾビタキ	88	552												552
ヒタキ	サメビタキ	89	553												553
ヒタキ	コサメビタキ	90	554					1					1		554
ヒタキ	キビタキ	91	558					6	6	7	2				558
ヒタキ	ムギマキ	92	559												559
ヒタキ	オオルリ	93	561					7		2					561
イワヒバリ	カヤクグリ	94	566												566
スズメ	ニューナイスズメ	95	568												568
スズメ	スズメ	96	569	42	6		5	10	5	7	7				569
セキレイ	キセキレイ	97	573	5									1		573
セキレイ	ハクセキレイ	98	574	4	2		1						2		574
セキレイ	セグロセキレイ	99	575	8				4					11		575
セキレイ	ピンズイ	100	580												580
アトリ	アトリ	101	586												586
アトリ	カワラヒワ	102	587		6			9	3						587
アトリ	マヒワ	103	588												588
アトリ	ベニマシコ	104	592												592
アトリ	ウソ	105	599												599
アトリ	シメ	106	600	1											600
アトリ	イカル	107	602												602
ホオジロ	ホオジロ	108	610		2										610
ホオジロ	カシラダカ	109	617												617
ホオジロ	ミヤマホオジロ	110	618												618
ホオジロ	アオジ	111	624	4	4										624
ホオジロ	クロジ	112	625												625
キジ	コジュケイ	113							1						
ハト	カラハト(トハト)	114		1					8			1	1		
チドリ	ソウシチョウ	115							20	4	9		2		
	ムシクイSP														
	タカSP				1										
	マルガモ														
観察種数合計				29	28		29	25	14	17		19			
個体数				257	299		171	140	94	42		125			
天候				晴	***		***	晴	曇	晴		曇			
参加者				16	18		17	15	7	5		11			